

平成30年度 岡山県環境審議会政策部会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：平成30年9月3日（月） 15：10～16：00
- 2 場 所：岡山県分庁舎 6階「606会議室」
- 3 出席者：
 - 委員（五十音順、敬称略）
赤井藤子、阿部宏史、岡本輝代志、河原長美、澁谷俊彦、高橋正徳、永富真理、藤木茂彦／計8名（欠席2名）
 - 事務局（県）
環境文化部次長、環境企画課長、新エネルギー・温暖化対策室長、環境管理課長、循環型社会推進課長、自然環境課長、事務局職員

議 題	1 部会長の選出及び副部会長の指名について 2 新岡山県環境基本計画（エコビジョン2020）の進捗状況について
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	【議題1】 互選により、部会長に河原長美委員が選出された。 河原長美部会長より、副部会長に岡本輝代志委員が指名された。
事務局説明	【議事2】 （環境企画課長が資料に基づき説明）
—委員意見— 委員	児島湖の水質について平成29年度のCOD7.8は特に高い数値となっているのか。
環境管理課長	平成28年度のCOD8.0より下がっているが、窒素・リンは上がっている。夏に降水量が少なかったこと、年間通じて日射量が多かった事が原因と考えている。今後とも平成29年3月に策定した児島湖に係る第7期湖沼水質保全計画に定めている施策を進めていくことで頑張っていきたい。
委員	雨が降ると水質は変わるのか。
環境管理課長	雨が降ると滞留時間が短くなるので水質は良くなる。
委員	気象変動とリンクするので評価が難しい。

<p>委員</p>	<p>エコビジョンの計画期間の終期が平成32年度で終わりが近づいている。世界の動向等を踏まえ、計画の見直しはどのようにしているのか。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>計画期間は平成20年度からだが、何度か改訂しており、最近では平成25年2月と平成29年2月に改訂している。環境を巡る情勢は大きく変わってきており、特に直近の改訂ではパリ協定の内容や新しい環境問題等を踏まえ改訂をしている。 当面は平成32（2020）年度を目標に進捗を管理していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>評価する指標の内容・目標値も変わるのか。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>現計画期間の32（2020）年度までは今の目標値を使用するが、それ以降は変えていくことになると思う。</p>
<p>次長</p>	<p>平成29年2月の改訂の時も指標を変えている。</p>
<p>委員</p>	<p>平成32（2020）年度以降の新しいエコビジョンの指標はこれから作っていく必要があると思うが、今の状況はどうか。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>目標年度まで2年半ある。2021年度から新しい目標に向かってスタートするが、指標を決めるのは前年度の2020年度になると思われる。 日々事業をしていく中での新たな課題やすでに目標を達成したもの等があるので、次の改訂で反映していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ソーラーパネルの耐用年数により、ごみになる時期が来る。 中国の安いパネルが入ってくると入れ替え作業で廃棄物が大量に出るが、具体的に県として考えがあるか。</p>
<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p>	<p>太陽光パネルを廃棄する際には廃棄物処理法に沿って処理するようになっている。適正処理できる事業者は限られており、国のホームページで公表している。</p>
<p>委員</p>	<p>実際、ソーラーパネルがダメになるから捨てるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>買い取り期限があり、その時期がもうすぐ来るという話を聞いたが。</p>

<p>環境企画課長</p>	<p>住宅用の高い値段で売電する期間が10年で、2019年から満了するものが出てくる。高い値段で売れなくなると自家消費するか別の業者に安い値段で売ることになるが、方向性が定まっていないという問題がある。</p> <p>太陽光パネルについては、古い製品は有害物質が含まれているかどうかはつきりわからないものもある。また、リサイクルには高度な技術も必要になる。</p> <p>国ではFIT制度の中で廃棄処分の費用の積み立てを義務付けるような制度を検討している。パネルの廃棄については現行では既存の廃棄物法令の中で対処していくことになり、リサイクルが難しければ最終処分となると思われる。</p>
<p>委員</p>	<p>当時は、太陽光パネルは工務店やゼネコンでなく訪問販売で設置していた。床下の換気扇の問題と同じ。屋根の荷重や家の耐震強度を考えず設置しており、設置業者はもういなくなっている。この状況は今も続いている。設置方法への指導がなかったのは大きな問題。業者はもういないのでだれが責任持つのか。監視する人がいないとやりたい放題になってしまう。</p>
<p>委員</p>	<p>CASBEEの評価制度を取り入れるようにしてほしい。イオンやトヨタはこの制度を使って建物を建てている。評価にマッチしていればその建物の評価も上がっている。建設の前後とランニングコストにかかるエネルギーを縮小しようとする設計。ある程度の規模の建物には推薦していただきたい。</p>
<p>循環型社会推進課長</p>	<p>建設リサイクル法に絡んでくるが、他の部にまたがっているので、今後、研究させていただきたい。</p>
<p>新エネルギー・温暖化対策室長</p>	<p>温暖化対策・二酸化炭素排出削減の点からも重要な制度だと思う。調べさせていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>県の住宅基本計画の関係なのか。</p>
<p>委員</p>	<p>住宅だけでなく建物の関係。中古のビルのリフォーム等にもCASBEEの評価に基づく設計、工事、解体等を行える。建物のリサイクルという点からもある程度の規模の建物には評価をなささいと言っていたらいい。</p>
<p>委員</p>	<p>行政は部署によって縦割りになっている。総合的に施策を実施してほしい。</p>

<p>委員</p>	<p>資料1「新岡山県環境基本計画（エコビジョン2020）の平成29年度進捗状況」1ページの2番の表が採点表、基本目標4つと推進目標2つを5段階で評価したもので、2、3ページ以降は例ということでしょうか。</p> <p>5～10ページがそれぞれのレベル、11ページからは根拠となる数字ということか。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>資料1の5～10ページは重点プログラムで、1ページの2の表の詳細な内容である。</p> <p>2～4ページにある数値は、11ページ以降、一番上に代表的な指標として挙げているものである。5～10ページの数値目標があるもの（※印がついている項目）を11ページ以降の下側の表に記載している。</p> <p>できるだけ数値目標を定めるようにしているが、項目によっては数値目標が定められないものもある。</p> <p>資料2では、取組の具体的内容や課題等を詳しく記載している。</p>
<p>委員</p>	<p>森林の保全では少花粉スギの出荷本数という目標があるが、針葉樹系のスギを植えるのか。森から出てくる栄養が川や海へ行くことを考えると広葉樹を植えるべきではないのか。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>植林をした森については適正に管理していくことが環境対策として取り上げられている。その中で、花粉症等の健康対策等の課題も踏まえ、少花粉スギが取り上げられている。</p> <p>別項目の「県民と楽しむ森づくりの推進」では植樹活動をしており、その中では、昔から生えている広葉樹を植えている。人工林でスギを植え替えるなら少花粉スギにするということである。</p>
<p>委員</p>	<p>スギは成長が早いですが災害に弱い。スギが増えれば、山の強さがなくなり、がけ崩れ等がおこるといった問題がある。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>古来からある森と植林された森では災害時には違いがあるが、植林された林を整備せず放っておくのが一番の問題である。植林された森について間伐等の手入れを行ったり、健康のために少花粉の品種を植えたりすることが必要と考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>人材の育成も必要ではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1の2ページに企業（製造品出荷額当たり）のエネルギー消費量とあるが、こういう統計があるのか。企業単位の積み上げなのか。</p>

<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p>	<p>県内の製造品出荷額や企業のエネルギー消費量に統計処理を行い、算出したものである。</p> <p>なお、一定量以上のエネルギーを消費している企業から毎年、温室効果ガスの排出量の報告をいただいているところである。</p>
<p>委員</p>	<p>水島の企業など報告はたくさんあるのか。</p>
<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p>	<p>報告していただいている企業は300件程度ある。</p>
<p style="text-align: right;">以上</p>	